

## 海の見える化から予測へ ドコモの ICT ブイ

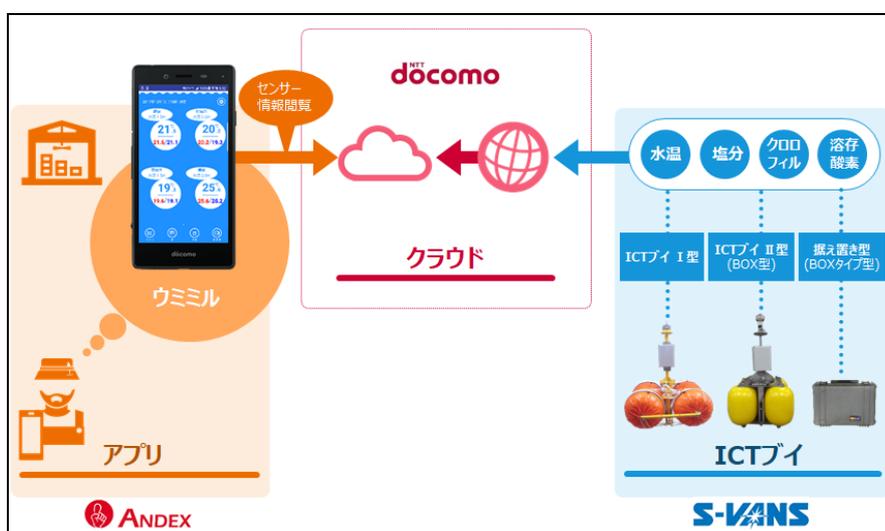
From visualization of the sea to prediction, DOCOMO ICT buoy

株式会社 NTT ドコモ 地域協創・ICT 推進室 担当課長 山本 圭一

NTT DOCOMO, INC. Manager, Keiichi Yamamoto

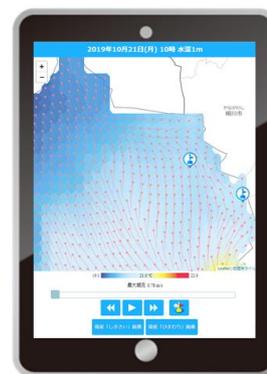
E-mail: yamamotokei@nttdocomo.com

NTT ドコモは、2011 年東日本大震災の復興支援をきっかけに、ノリ・カキ養殖の生産者と接点を持つことができた。生産者から「津波や温暖化により、海の状態が変わっている。スマートフォンで手軽に海の状態が分かるソリューションを提供して欲しい」という要望に応え、2017 年からパートナー企業と連携し ICT ブイソリューションを展開している。



サービス開始当初はノリ・カキ養殖が中心であったが、次第に真珠（アコヤ貝）、もずく、アーサでも活用が拡がり、今ではタイ、カンパチ、マグロ、サーモン等の給餌養殖の現場でも活用いただいている。

2019 年から株式会社フォーキャスト・オーシャン・プラス（以下、FOP）と連携し、「予測」機能の提供を開始した。具体的には FOP が計算した流向・流速・水温を、生産者のスマートフォン上に 1 時間毎 5 日先までアニメーションで提供している。これにより、養殖生産管理が可能になり、稼働の無駄削減や新たな生産手法開発が期待されている。



この他にも、国立大学法人東京大学大学院と「5G と水中ドローンを活用した漁場遠隔監視」や、国立大学法人広島大学と「栄養塩推定モデル開発」の共同研究を実施するなど、水産業の課題解決を実現するために、積極的に産学連携を進めている。